

# きた北海道ルート



○道北地域におけるサイクルツーリズムを推進し、国内外から道北地域へサイクリストの誘致を図り、サイクリング観光の活性化を目的とし、宗谷シーニックバイウェイ、天塩川シーニックバイウェイとが連携し、平成29年から活動を開始。令和元年には「きた北海道サイクルツーリズム連絡会議」を設置。

## きた北海道サイクルツーリズム連絡会議

- ・情報発信や受け入れ態勢の整備等の検討を実施
- ・メンバー(振興局、沿線自治体、観光協会、サイクリング協会、宗谷SBW、天塩川SBW等)

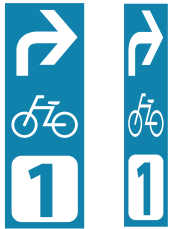
## 快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

### ○路面表示(矢羽根)による安全対策

・車道における自転車通行位置を自転車利用者とドライバーの双方に示し「安全」な走行環境を確保するため、ルート上の主要な交差点部、急カーブの手前、トンネルの入口手前等に設置。



(矢羽根型路面表示設置箇所の走行状況)



(案内看板シール)

### ○統一的なルート案内

- ・道路附属物(道路 標識、道路照明、固定式視線誘導等)の支柱に案内看板を貼付。
- ・支柱がない箇所や設置河川管理用通路上では路面表示により案内。

全長約372km



### 凡例

- 基幹ルート1
- 基幹ルート2
- 自動車専用道路
- 一般国道
- 主要道道・一般道道
- JR線
- 道の駅
- 空港
- 港

## サイクルツーリズム推進のための取組

### ○受入環境の充実

・地元関係者の協働によるオリジナルのサイクルラック製作・設置等、受入環境の充実を図る。

### ○移動サポート体制の構築

・メカトラブル発見時にサイクリスト応援カーによる自転車工具等の無料貸出体制を構築する。  
 ・地域の民間企業や運輸会社等との連携により、輸送サービスや緊急サポート体制、荷物輸送サービスの構築を図る。また、レンタサイクル等の移動サポート体制の構築を図る。

### ○情報発信(ホームページ、サイクリングマップ、PR動画等)

・ルートの魅力周知のため、民間企業や自治体と連携しサイクリングイベントの実施を進める。  
 ・サイクリングマップをルートの起終点や立寄施設など、「道の駅」や空港等の拠点施設に配布し情報発信を実施。



地元関係者の協働によるサイクルラック製作・設置

サイクリスト応援カーによる自転車工具等の無料貸出

移動サポート(サイクルバス)による輸送サービス

サイクリングイベントの開催